

## 1 申請及び裁定の状況

## (1) 申請の状況

区 分	元年度	2年度	3年度	前年度比
申請に係る被害者数 (申請件数)	385 (470)	369 (440)	381 (443)	+12 (+3)
遺族給付金 (申請件数)	132 (217)	118 (189)	118 (180)	±0 (-9)
重傷病給付金	157	163	156	-7
障害給付金	96	88	107	+19

## (2) 裁定の状況（当該年度以前の申請分を含む）

区 分	元年度	2年度	3年度	前年度比
裁定に係る被害者数 (裁定件数)	375 (461)	296 (377)	334 (396)	+38 (+19)
支給裁定 (裁定件数)	316 (393)	263 (338)	288 (347)	+25 (+9)
遺族給付金 (裁定件数)	116 (193)	103 (178)	110 (169)	+7 (-9)
重傷病給付金	109	98	110	+12
障害給付金	91	62	68	+6
不支給裁定 (裁定件数)	59 (68)	33 (39)	46 (49)	+13 (+10)

仮給付決定に係る被害者数 (決定件数)	10 (10)	7 (10)	18 (19)	+11 (+9)
------------------------	------------	-----------	------------	-------------

- 裁定までに要した期間は平均約9.3か月・中央値約6.4か月
- 1年以内の裁定は77%

## 2 不支給裁定の理由

(単位：人)

犯罪被害に該当しなかった	11
被害者に犯罪行為を誘発する行為、著しく不正な行為等があった	9
被害者と加害者との間に夫婦関係等一定の親族関係があった	3
遺族給付金の申請者が第一順位遺族ではなかった	2
給付金の算定額を上回る労災補償、損害賠償等の受領が判明した	21
合 計	46

## 3 支給裁定額の状況

(単位：千円)

区 分	裁定額	前年度比	平均	前年度比	最高額
遺族給付金	731,366	+123,687	6,649	+749	23,450
重傷病給付金	29,175	+5,124	265	+20	1,200
障害給付金	248,335	+54,975	3,652	+533	27,072
裁定総額	1,008,877	+183,787			

(\*千円未満四捨五入)

- 裁定に係る被害者数、裁定総額はいずれも増加
- 減額裁定に係る被害者数は85人（前年度比+6人）

## 4 国家公安委員会に対する審査請求の状況

- 請求 9件（前年度比-3件）
- 裁決 10件（前年度比-1件）
- ※裁決の内訳（認容1件、却下1件、棄却8件）